

令和8年度 籠上グループ 小中一貫 C・S 教育構想 (籠上中・井宮小・井宮北小)

視点1 学校の教育目標をグループ校で共有する

三校共通学校教育目標 **豊かな心と志をもち 自ら切り拓く子**

目指す
子ども像

- ☆ 相手を思いやり、互いの良さを認め、共に幸せを追求する子
- ☆ よりよい将来や社会の実現に向け、夢や目標をもち、粘り強く努力する子
- ☆ 学校や地域を愛し、その一員として力を尽くす子

重点目標 ○籠上中「自律と尊重」 ○井宮小「思いやる子 高め合う子」 ○井宮北小「やさしさいっぱい チャレンジいっぱい」

【評価指標】 将来の夢や目標をもち、その具現に向けて取り組んでいる児童生徒の育成

よりよく生きる力を育む教育の推進

【軸となる取組・活動】 **キャリア教育を核とした自立と共生の心の育成**

- 1 自分を見つめ、生き方を学ぶキャリア教育
○各領域における学習・活動を関連付けた全体計画
○地域学習、職場見学、社会人講話、社会科見学を通じた学習、総合的な学習の時間の充実
- 2 望ましい生活習慣の育成
○籠上スタンダード「あいさつ・言葉遣い・時間」の実践

心を育てる

【評価指標】 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の育成

学
びをつなぐ

協
働して創る

地
域に根ざす

視点2 9年間の連続性・系統性を強化した教育課程

視点3 教職員の協働・児童生徒の交流

視点4 地域との連携

発達段階に応じた学び方と学習習慣の育成

- 1 9年間を見通した教科指導
○内容の系統性を踏まえた
年間指導計画の作成・実践
- 2 学習習慣の育成
○「家庭学習の手引き」の活用による
家庭学習の充実
- 3 表現力・コミュニケーション能力を高める指導
○「話す・聞く」を中心とした
表現活動の場の重視

【評価指標】

授業や家庭における学び方の基礎・基本を身につけている児童生徒の育成

つながりを大切にした協働による学校づくり

- 1 つながりと学び合いを深める
児童・生徒間交流
○児童・生徒会連携による活動の計画・実施
(小中合同によるあいさつ運動など)
○小、中学校とも「良さ見つけ」の実施
○小学6年生への中学校生活説明会の実施
○小中合同作品展の実施
○中学校の本を小学校に展示
- 2 子どもを知り、実践を学び合う
合同研修の推進
○各校の校内授業研究への参加
○共通のテーマを設定した
学校保健委員会の企画・実施

コミュニティ・スクールによる家庭・地域との協働

- 1 地域の教育資源を活用した教育の推進
○地域について学ぶ「龍門タイム(総合)」の実践(歴史文化・福祉・環境・産業・防災…等)
○地域人材を生かした教育活動
(総合・社会・道徳・キャリア教育等)
○保護者・地域ボランティアによる支援
(オレンジサポーターズ、読み聞かせ等)
- 2 児童生徒の地域との積極的交流
○学区一斉清掃・地域防災訓練への参加
○地域の活動やボランティア活動への参加

【評価指標】 地域の素材や人材に関心をもち、地域の良さを感ずることが出来る児童生徒の育成

【指導の土台…人権を尊重する学校風土の確立】

◆特別支援教育の充実と共生の精神の涵養 ～過ごしやすい、学びやすい環境づくり～

- 誰一人取り残されることなく、安全・安心で落ち着いた学校生活を送れる環境(サポートルームの充実)
- 道徳教育の充実、ソーシャル・スキル・トレーニングの実践 ○人権について学び考える機会の設定
- OUDの視点に立った授業・学習環境づくり(授業UD:「焦点化」「視覚化」「共有化」、環境UD:「全面黒板の簡潔化」「ロッカーや靴箱の整理整頓」)

共に生きる